

医療福祉学研究

[研究] 1年・2年 選択 30時間 2単位

《担当者名》○巻 康弘[maki@hoku-iryo-u.ac.jp] 向谷地生良(客員)

【概要】

「自己決定」「利用者主体」「権利擁護」を取り上げ、医療福祉領域で展開されるソーシャルワーク実践の倫理的な課題について理解を深める。医療ソーシャルワーカーの持つべき「価値」を、歴史的背景や社会背景を踏まえ、関連する講義・論文購読をし、ディスカッションを行う。

【学修目標】

社会福祉基礎構造改革から、一貫してその施策に貫かれている「自己決定論」を批判的に検証し、その実質化に向けて実践的にアプローチすることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	この講義で取り上げる課題について、問題意識を共有する	巻
2 5 7	1. 医療福祉における「自己決定」をめぐる議論について学ぶ 2. 「利用者主体論」について学ぶ	1～2の課題について、講義・論文購読し、ディスカッションを行う 参考文献 「ケアその思想と実践3 ケアされること」岩波書店 「ケアとはなんだろうか」ミネルヴァ書房	向谷地 巻
8 9 11	「生活」「生活支援」について学ぶ	「生活」「生活支援」に関する課題について、講義・論文購読し、ディスカッションを行う	向谷地 巻
12 13 15	1. 地域包括ケア時代における医療提供機関の役割について考える 2. 医療福祉における意思決定について考える	1～2の課題について、講義・論文購読し、ディスカッションを行う	巻

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

準備・参加状況30%、プレゼンテーション30%、課題レポート40%

【教科書】

講義時に提示

【参考書】

講義時に提示

【学修の準備】

関連文献を読み、ディスカッション等に反映できるような準備が望まれる。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期(修士)課程のディプロマ・ポリシーに適合している。